

今号の主な見出し

- ・ 1面 地域の「主役」に
- ・ 2面・3面 町会・自治会紹介
- ・ 4面 協議会の活動報告

地域の「主役」に



令和4年1月、今、まさに未来へ羽ばたこうとされている新成人の皆さんへ、町会長協議会から町会・自治会を紹介するパンフレットと印鑑ホルダーをプレゼントしました。

若い世代の方々に町会・自治会の活動に興味を持っていただき、若い力と豊かな想像力で地域を盛り上げていただきたいと思います。

町会・自治会はあなたを待っています！

町会・自治会は地域におけるコミュニティ形成の基礎として、重要な役割を担っています。町会・自治会の社会貢献活動や、もしものときの共助のために、あなたの力が必要です。

町会・自治会への加入方法は？

右下のQRコードを読み込み、表示された申込フォームから必要事項を入力し、送信してください。
後日、町会・自治会長より連絡があります。

【町会・自治会に関する問合せ先】

福生市役所 生活環境部 協働推進課
TEL：042-551-1590（直通）



福生市成人式実行委員会の皆さんと記念撮影

各町会・自治会の活動紹介や、町会・自治会の区域図などは、福生市町会長協議会 website (右QRコード) をご覧ください！



町会・自治会が支える自助・共助・公助

3つのテーマから町会・自治会の活動を紹介します

支えあい

- ◆安全・安心を支える活動
(防犯パトロール、防災訓練など)
- ◆子どもたちの健全育成に取り組む活動
(あいさつ運動、声かけ運動など)
- ◆まちを美しくする活動
(町内清掃、花いっぱい運動など)

うるおい

- ◆地域住民の健康づくりを進める活動
(運動会、ラジオ体操など)
- ◆福祉に関する活動
(敬老会、募金活動など)

にぎわい

- ◆イベント活動(夏祭り、盆踊り、もちつき大会など)

南田園一丁目町会では、年間を通じて、桜まつり・夏祭り・日帰り旅行等、コミュニケーションを大切にする事で連帯感を醸成する活動をしています。

また、当地区は福生市の中でも低地にあり、多摩川の氾濫による洪水を警戒しながらも、安全・安心に暮らしていくために、近隣

支えあい

①南田園一丁目町会
会長 田村 宏彦
コミュニケーション

今号の町会・自治会



わくわく体験 秋のイベント



四地区合同「水・防災訓練」

町会と合同で毎年「水・防災訓練」を実施しています。

昨年の「水・防災訓練」には、地域の中学校の生徒も多数参加し、地域の方々との交流も行われ、少しずつですが絆づくりを育むことができています。そして、この交流を契機に、町で会ったら「おはよう」「こんにちは」「変わりない？」等、年代にかかわらず挨拶をかわす声が聞こえる地域を目指しています。

町会活動は、7つの団体(福寿会、しんわ会、女性部、青年部、福生一中PTA支部、子ども会、青少年育成地区)が一丸となって「仲良く。楽しく」をモットーに町会員と共に活発な活動をしています。しかしながら、高齢化社会が進み町会活動も減少傾向にありますが、原ヶ谷戸町会の伝統を継承しつつ、今の時代に合った町会活動を活性化させてまいりたいと考えております。

支えあい・にぎわい

②原ヶ谷戸町会
会長 郡司 光志
活気あふれる町会

原ヶ谷戸町会は、福生市の中央部に位置し、米軍横田基地に面する街並みは国際色豊かです。町会発足は、昭和14年(1939年)です。今日まで82年の歴史と伝統のある町会です。

原ヶ谷戸町会は、福生市の中央部に位置し、米軍横田基地に面する街並みは国際色豊かです。町会発足は、昭和14年(1939年)です。今日まで82年の歴史と伝統のある町会です。



再開が待ち遠しい夏祭り（平成29年）

町会の一大イベントである夏祭りには、神輿と山車が町会を巡行し、夏の暑さに負けない活気を町会員に届けています。コロナ禍の中、大勢で集まることができないことから、昨年好評だったリモート抽選会を今年度は「新春初夢大抽選会」と銘打って町会員全世帯を対象に行いました。また、例年は、自主防災研修を行い、防災意識の高揚を図っています。

原ヶ谷戸町会は会員の絆を育み、安全・安心な地域づくりを目指しています。

長沢町会の活動は、会員相互の交流やふれあいと助け合いをもとに地域の活性化に向けて活動を行っています。毎年の活動としては町内美化デー、盆踊り、夏祭り、秋の親子運動会、資源回収、歳末夜間パトロール等を行っています。

支えあい

地域の安全・安心を

③長沢町会

会長 田村 正彦



自主防災研修の様子（平成30年）

また、コロナ感染防止対策キャンペーンとして、みんなでコロナ禍を乗り越えようと、マスク・携帯用除菌シート・ゴミ袋を配布し、マスクの着用と手洗い・手指洗浄・体温測定の実践をお願いしました。「ウイルスに感染しない・させない」ことで、町内の安全・安心と1日も早く感染が収束し今までのよう



に町会活動ができることを願っています。

しかし、令和2年・3年と新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら様々な行事が中止となり、地域での交流も閉ざされてしまいました。

そんな中でもできることを実施しようとして、感染防止に努めながら町会・PTA・青少年主催の資源回収を年9回行い、自主防災組織可搬ポンプ部による可搬ポンプの点検と操法訓練や町内の安全・安心と防災意識向上のために歳末夜間パトロール（3日間）を実施しました。



PTA主催の資源回収の様子



可搬ポンプによる放水訓練

協議会の活動報告

町会・自治会紹介パネルを
展示しました

加入促進のための勉強会を
開催しました



展示したパネルの内容は、協議会ウェブサイトでも御覧いただけます。

町会長協議会では、例年のイベント参加やあいさつ運動に代わる事業として、令和3年10月25日(月)から12月1日(水)までの間、福生市役所1階において、市内32の町会・自治会を紹介するパネルを展示しました。

各町会・自治会とも特色のあるプロフィールに選りすぐりの活動写真を添えてアピールし、来庁された方々に、町会・自治会の魅力や加入のメリットなどを発信しました。

令和3年10月20日(水)、町会・自治会加入促進のための勉強会を開催しました。多くの町会・自治会の会長や役員が参加し、地域活動支援アドバイザーによる講演やワークシヨップ(個人ワーク、意見交換)が行われました。

講演では、「組織視点の町会」から「市民視点の町会」への進化をテーマとして、若い世代の「誰かの役に立ちたい」という思いや、子どもたちの「自分たちで遊び場をつくりたい」という願いを町会・自治会の人脈で支援する事例が紹介されました。また、持続可能な町会・自治会を目指して、規則を緩やかにして組織やイベントへの参加を広げる方法や、小学校と連携した後継者づくりの方法などが紹介されました。

個人ワークでは、住民が集い、交流できる施設や場所を参加者全員が考え、発表された内容について意見を出し合いました。

勉強会を主催した地域活性化検討部会の森田鍋ヶ谷戸第二町会長は、「未加入の方に對して、いかに町会の魅力、また活動の内容を知ってもらおうか、この勉強会の内容をヒントに、一世帯でも多く、加入促進を目指したい」と話しています。



個人ワークの発表と意見交換の様子



講演を熱心に聴取する参加者の皆さん

広告掲載スペース

会報「ちいき」編集委員(令和4年2月)

編集委員長 青海 俊伯
編集委員 関根 孝明・石川 博三
小林 陽一・田村 正彦